

伝えたい

まちの遺産

春日野道

―国道八号の前身―

国道八号は、かつての北陸道を継承してきた道路で、福井県では嶺南地方と嶺北地方とをつなぐ重要な役目を担ってきました。

之丞らの民間資本により建設され、いわゆる有料道路として通行料金の徴収も認められていました。

次いで明治九年には、敦賀側からも海岸道路が整備されましたが、本格的に敦賀―武生間を車道として結んだ「春日野道」の建設は、明治十八（一八八五）年になってからでした。その背景には、明治十四年に福井県が誕生したこと、同十七年に金ヶ崎―長浜間における国鉄北陸線開通の影響がありました。鉄道と海岸道路、北陸道をつなぎ、敦賀に集まった物資を嶺北地方へ流通させるといった構想があったようです。

明治時代に入り北陸道を荷車や馬車が往来するようになってからは、盛んに改良工事が行われ、新たな道路も次々と整備されていきました。しかし、急な坂道や積雪が多い敦賀―武生間においては、従来の木ノ芽峠越えのルートでは車馬が通行できないため、海岸部を通る車道が開かれていきました。

まず最初に整備されたのは、南条郡四郎丸と同郡河野浦を結ぶ「春日野新道」です。この路線は、武生から春日野を経て河野浦へ至り船で敦賀港へ輸送するというもので、明治七（一八七四）年に河野浦の北前船主、右近権左衛門や中村三



「桜橋」の眼下には、春日野道建設時に架けられた旧「桜橋」（町指定文化財）が存在する



現在の国道八号の前身となった「春日野道」の全線開通の時期は不明ですが、春日野峠には石とレンガで積み上げられた「春日野トンネル」が今なお残っており、「明治十九年十二月」の記念銘があります。トンネルは「春日野マンブ」の愛称で親しまれ、当時入口付近には旅館や茶店があり、学校の遠足場所にもなっていたようです。

知って得する体力・筋力 健康な体への第一歩



ウォーターランド通信

ウォーターランド南条 ☎ 47・3711

筋バランスを整えよう!!

筋バランスってなあに？

筋肉の「柔軟性バランス」と「筋力バランス」の二面から評価したものです。太ももの裏を例に挙げると、ストレッチをしたときに左右の柔軟性や筋出力に差が出たりすることがあります。その場合は何らかの原因で筋バランスが崩れていると言えるでしょう。

筋バランスが悪いとどうなるの？

筋バランスが崩れると骨格の歪みに影響してきます。例えば、太もも裏の筋肉の柔軟性が悪い（硬化する）と、太もも前の筋肉に力が入りにくくなり（弱化）、気付かないうちに膝や腰の障害につながっている場合があります。

筋バランスを整えるにはどうしたらいいの？

基本的にはトレーニングとストレッチの組合せで筋バランスを整えます。トレーナーに筋バランスをチェックしてもらい、トレーニングプログラムを組んでもらいましょう。

体力測定で体力年齢を知ろう!!

11月1日(土)・2日(日)に行われる町民文化祭にあわせて体力測定会を実施します。測定後は健康運動指導士によるカウンセリングや運動・体操のメニューを作成、その後はトレーニングジムを利用して体力アップを目指します。

また、12月7日(日)にも体力測定会を実施。さらに体力測定者を対象とした無料の「ベジックトレーニング講座」を毎週金曜日の夜に開講します。

病気を未然に防ぐために、健康な体づくりと体のメンテナンスを提案します。まずはご自分の体力を知ることから始めてみましょう。

